

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年7月26日(2012.7.26)

【公表番号】特表2011-524197(P2011-524197A)

【公表日】平成23年9月1日(2011.9.1)

【年通号数】公開・登録公報2011-035

【出願番号】特願2011-513662(P2011-513662)

【国際特許分類】

A 6 1 M 25/10 (2006.01)

A 6 1 M 25/00 (2006.01)

A 6 1 M 25/09 (2006.01)

A 6 1 F 2/84 (2006.01)

A 6 1 F 2/82 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 25/00 4 1 0 R

A 6 1 M 25/00 3 1 4

A 6 1 M 25/00 4 1 0 H

A 6 1 M 25/00 4 5 0 B

A 6 1 M 29/00

A 6 1 M 29/02

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月8日(2012.6.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

i. 遠位端部分を有し、膨張管腔を画定するカテーテル・シャフトと、

ii. 該カテーテル・シャフトの該遠位端部分に配置され、遠位くびれ部分を有する主バルーンと、

iii. 主ガイドワイヤ管腔を画定する主ガイドワイヤ・ハウジングと、

iv. 側方バルーンと、遠位端部分と近位端部分とを有する側方膨張部材とを含み、該側方バルーンが該側方膨張部材の該近位端部分に配置され、かつ該側方膨張部材と連通し、該側方膨張部材の該遠位端部分が該主バルーンの該遠位くびれ部分において該主バルーンと連通して固着され、更には前記側方バルーンの近位側面に隣接する位置において終端する側方バルーン・アセンブリと

からなるカテーテル主枝からなるカテーテル・アセンブリ。

【請求項2】

枝ガイドワイヤ管腔を画定するカテーテル第2枝をさらに備える、請求項1に記載のカテーテル・アセンブリ。

【請求項3】

前記カテーテル第2枝が前記側方バルーン・アセンブリに動作可能に接続される、請求項2に記載のカテーテル・アセンブリ。

【請求項4】

カテーテル第2枝が前記側方バルーンの長手方向軸と位置合わせされる、請求項2または3に記載のカテーテル・アセンブリ。

【請求項 5】

前記カテーテル第2枝が側方バルーン接続点で前記側方バルーンに接続される、請求項3に記載のカテーテル・アセンブリ。

【請求項 6】

前記側方膨張部材が遠位結合部において前記主バルーンに固着され、該遠位結合部が結合チューブ部材と、前記主バルーンの前記遠位くびれ部分と、前記側方膨張管腔の前記遠位端部分との間の接続を含む、請求項1から5のいずれかに記載のカテーテル・アセンブリ。

【請求項 7】

前記側方バルーン・アセンブリが前記主バルーンの近位くびれ部分の近位の位置において終端する、請求項1から6のいずれかに記載のカテーテル・アセンブリ。

【請求項 8】

前記主バルーンの前記遠位くびれ部分が、長手方向に延びる前記主バルーンの前記遠位くびれ部分に形成された少なくとも1つのスリットによって画定されたタブ部材を含む、請求項1から7のいずれかに記載のカテーテル・アセンブリ。

【請求項 9】

(a) 遠位開端と、近位開端と、側枝アパーイヤとを有するステントであって、該側枝アパーイヤが該ステント内で該遠位開端と該近位開端の間に配置された位置で画定される、ステントと、

(b) カテーテル第1枝であって、

i. 遠位端部分を有し、膨張管腔を画定するカテーテル・シャフトと、

ii. 該カテーテル・シャフトの該遠位端部分に配置され、近位端部分と遠位端部分とを有し、該ステントの少なくとも該近位開端から該遠位開端まで該ステント内で延びる主バルーンと、

iii. 該近位端部分から該遠位端部分まで該主バルーンを通って延び、主ガイドワイヤ管腔を画定するガイドワイヤ・ハウジングと、

iv. 側方バルーンと、該側方バルーンと連通して接続される近位端部分と、該側方バルーンの遠位の位置において該主バルーンと連通して接続される遠位端部分とを有する側方膨張部材とを含み、該側方バルーンが該ステントの該側枝アパーイヤと軸方向および径方向に整合するよう位置され、更には前記側方バルーンの近位側面に隣接する位置において終端する側方バルーン・アセンブリとからなる前記カテーテル第1枝とを備えるステント・デリバリー・システム。

【請求項 10】

前記ステントの前記近位開端を通って前記ステント内へ延び前記ステントから前記側枝アパーイヤを通って延出する遠位端部分を含み、かつ枝ガイドワイヤ管腔を画定するカテーテル側枝をさらに備える請求項9に記載のステント・デリバリー・システム。

【請求項 11】

前記カテーテル側枝が前記側方バルーン・アセンブリに動作可能に接続される、請求項10に記載のステント・デリバリー・システム。

【請求項 12】

前記カテーテル側枝が側方バルーン接続点において前記側方バルーンに接続される、請求項11に記載のステント・デリバリー・システム。

【請求項 13】

前記側方膨張部材の近位端部分と前記主バルーンの間の接続が主バルーンの遠位端部分に配置された遠位結合部である、請求項9から12のいずれかに記載のステント・デリバリー・システム。

【請求項 14】

前記遠位結合部が側方膨張部材と主バルーンの遠位端部分と、前記側方膨張部材の遠位端部分の少なくとも1部分の上および前記主バルーンの遠位端部分の少なくとも1部分内で延びる結合チューブとの間の熱結合部分を含む、請求項13に記載のステント・デリバ

リー・システム。

【請求項 1 5】

前記主バルーンが同主バルーンの前記遠位端部分において遠位くびれ部分を含み、該遠位くびれ部分において側方膨張部材が主バルーンと連通して接続される、請求項9から14のいずれかに記載のステント・デリバリー・システム。